

科目名 成人看護援助論Ⅲ 時間割表記名 成人看護学援助論Ⅲ		配当時期 2年次後期 単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	講義担当者 佐々木主一 今村祐太 前川友成 富永圭一
事前学習内容 1年次に学習した解剖生理学、看護形態機能学、疾病論、フィジカルアセスメントなどの学習内容の復習 成人看護援助論Ⅰの学習内容の復習			
授業目標 1. 救急・集中治療における患者及び家族の特徴を理解できる。 2. 救急・集中治療における患者及び家族の身体・心理状態のアセスメント及び看護について理解できる。 3. 救急・集中治療の場における治療・処置に必要な看護を理解できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	救急看護とクリティカルケアの特徴(身体的・精神的・社会的特徴) 救急医療体制と救急搬送システム 救急看護・クリティカルケアの場 救急・集中治療を必要とする患者・家族の特徴	講義	テキスト①②
2	緊急度・重症度のアセスメント 救急外来におけるトリアージ	講義	テキスト①②③
3	クリティカルな状態にある患者と家族の心理状態のアセスメント 危機的状態にある患者・家族へのケア 危機のプロセスと介入(危機理論の活用) 意思決定支援、代理意思決定支援	講義	テキスト①②
4	救急看護・クリティカルケアの場で使用される ME 機器の理解と看護 1)生体モニタリング機器 2)呼吸補助関連機器 3)循環補助関連機器 4)血液浄化関連機器	講義	テキスト①②④
5	救急・集中治療を受ける患者の薬物療法 1)鎮痛・鎮静 2)昇圧薬、降圧薬 3)冠血管拡張薬 4)筋弛緩薬 5)抗凝固薬 多剤併用時の輸液管理	講義	テキスト①②④
6	主要病態に対する看護① 心肺停止	講義	テキスト①②④
7	主要病態に対する看護② ショック	講義	テキスト①②④
8	主要病態に対する看護③ 外傷・熱傷・中毒	講義	テキスト①②④
9	事例展開:循環機能障害のある患者の看護	講義・演習	

10	心筋梗塞・冠状動脈バイパス術後の看護		テキスト ①②③④
11			
12			
13	ドレナージ管理が必要な患者の看護 1)ドレーン管理の原則 2)観察とアセスメント 3)感染予防 (1)脳室ドレナージ (2)胸腔ドレナージ	講義・演習	テキスト①③
14	人工呼吸器装着中の患者の看護 1)IPPV 中の管理とケア (1)加温・加湿 (2)気管内吸引 (3)体位ドレナージ	講義・演習	テキスト①③
15	試験 まとめ	筆記試験 講義	
受講上の注意			評価方法 筆記試験 レポート
使用するテキスト ① 系統看護学講座 別巻 救急看護学 ② 系統看護学講座 別巻 クリティカルケア ③ 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 ④ 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論			